

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2017No.78】(HP 掲載)

分類：CD

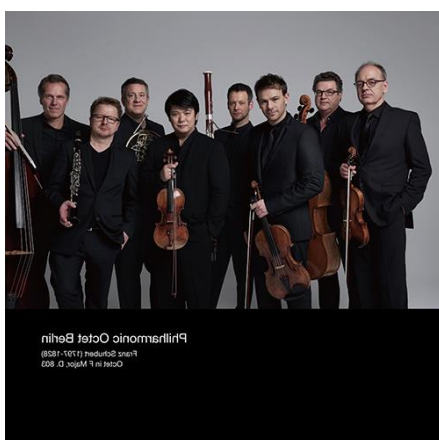
作曲家：シューベルト

曲名：八重奏曲

演奏：ベルリン・フィル八重奏団

発売：ウイステリアプロジェクト

No.：BPOC-0001



[ウィーン交響楽団と榎本大進のコンサート](#)に行って買い求めてきたものです。幸運にも本年1月に[ベルリン・フィル八重奏団によるこの曲の演奏](#)を聴いています。

「榎本大進率いる新体制で十八番のシューベルトを19年ぶりに録音！

2013年に、日本が世界に誇るヴァイオリニスト榎本大進の他、ヴィオラにグロス、ホルンにドール、ファゴットにピロンという、文字通り21世紀のベルリン・フィルの「顔」と言えるメンバーたちが加わり、「ベルリン・フィル八重奏団」は新たなスタートを切った。2014年1月、そして2017年1月の来日公演でも好評を博し、待望されていた「シューベルト：八重奏曲」の録音がいよいよ実現！レコーディング・ディレクターには、彼らの音楽を熟知している、ベルリン・フィルのエンジニア、クリストフ・フランケが担当。世界的奏者8人それぞれの音色が際立つ上に、アンサンブルの素晴らしさも伝えてくれる神業が光る。シューベルトが伝えたかったことが如実に自然と伝わり、シューベルト：八重奏曲の魅力に新たに気づく人も多いに違いない。納得のいかない録音のリリースは承諾しない彼らの貴重な録音。今回収録した「シューベルトの八重奏曲」を演奏するために、約80年前に結成された、ベルリン・フィルの室内楽グループでも最も歴史ある「ベルリン・フィル八重奏団」。【発売元：(株)ウイステリアプロジェクト】

【収録内容】

シューベルト：八重奏曲

再生は、EMT981→CCV-5→SWD-DA20の経路で行い、EMT981にはGPS-777から44.1KHzのクロックを、CCV-5にはGPS-777から96KHzのクロックを入れています。また、今回、新たに購入したデジタルアキュライザーDACU-500をSWD-DA20の入力端子に挿入しています。

本年1月に聴いた演奏が、演奏会の直後に東京オペタシティで録音され、11月に発売されたばかりのものです。ベルリン・フィル八重奏団はシューベルトの八重奏曲を演奏するために結成されたとかで、名手揃いによる極めつけの演奏です。弦楽器と管楽器が互いに混ざり合い、受け渡しあって進む演奏はアンサンブルの極致と言えます。

以上